



私の理想の瞬間

ジャナカ

シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールにいる皆様にごあいさつをします。私の名前はジャナカです。私は 18 歳で、現在はオーストラリアのビクトリア州、メルボルンに住んでいます。私は両親のスメータとリントン、そして妹のシャーンティ・スダと一緒に住んでいます。私は皆さんに、「私の理想の瞬間」と呼んでいるこの物語をお話することにとってもわくわくしています。

2018 年 8 月初めのある晩、シュリー・ムクターナダ・アーシュラムの若者たちは、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトの「その理想の瞬間を待つ」というグルマーイの詩を、皆でじっくりとよく考えるために集まりました。

小さなグループに分かれ、私たちはこの詩が自分たちにとってどのような意味を持つかを熟考し、日記に記しました。私の日記には、「自分自身の理想の瞬間を作るためには、立ち止まり、つながること」と書きました。その年、「立ち止まり、つながる」は、グルマーイのその年の「スウィート・サプライズ(嬉しい驚き)」での教えの一つでした。

数日後、サツァングがあり、バジャンとアバンガが、あるとても才能あふれるシッダ・ヨーギによって歌われました。その後、グルマーイはアフリカのザンビアから訪れていた男性に、シュリー・ムクターナダ・アーシュラムでセーヴァーをささげた体験について話してくれるよう言いました。最初、その男性は緊張していました。そこでグルマーイは、彼の緊張を取り除くために、立ち

上がって話すことができる自信のある人がいるかと尋ねました。しかし、最初はあまりいませんでした。

その瞬間、私は自分がしなければならないことが分かりました！ 私は手助けをするべく手を挙げました。するとグルマーイは、私に立ち上がって話すように促しました。私は数日前がそのザンビアの男性の誕生日だったと話しました。その時私は彼と話をし、彼は世界中のシッダ・ヨーギと共に自分の誕生日を祝うことができ、とても感謝していました。その時点から、ザンビア出身の男性の緊張は解け、より楽に話をすることができたのです！

私は私の理想の瞬間を見つけました。グルマーイの詩「その理想の瞬間を待つ」のおかげで、私はグルマーイに、より自信を持って、自分にできる限りのどのような方法であれ奉仕することができると感じました。私は誰かに支援の手を差し伸べることができ、その人々は自らの最善を尽くすことができました。そして、私は人生の中でより多くの理想の瞬間を見つけ続けています。

私はこのことをグルマーイに感謝します。私のお気に入りのアバンガの一つはこう言います。

私は心からグルマーイを敬愛します。

アヴァダリ・グルマーイ・ヒリダヤ、アヴァダリ・グルマーイ。

